

意見交換会「平成 28 年 4 月 28 日 山西防災コミュニティーセンター」要約

テーマ A：東大跡地活用 3 名 B：地域包括ケアシステム 5 名 C：予算全般 1 名 計 9 名

【東大果樹園跡地活用について】

要約：

利活用の基本的な考え方とともに具体的な案が出された。一つは町全体を考え、長期的な視野に立ち、人口減少や高齢化等を考慮し、公共施設の再配置計画の中で利活用する。たとえば、学校統合や公共施設を複合化統合で跡地に移設する。二つ目は人口減少緩和に向け自然を生かした交流の場とし、子育て層にアピールし定住促進を図る。経費が比較的掛からず財政面からも良い。

町全体を考え、更には人口ビジョンや団塊世代が後期高齢者となる 2025 年等長期的視野で利活用を考える。しかし、財源確保ができるか。

各意見：

＜公共施設再配置に利用＞

- ▶ 学童は減少傾向であり学校統合を行う。
- ▶ 公共施設の複合再配置、集約化を図る。
- ▶ 広域避難場所の老朽化も考慮すると防災に則した使い勝手が望ましい。
- ▶ 公民館、ラディアンもあるため類似の新たな施設はいらない。

二宮町の良さは東京近郊であるにもかかわらず自然が残り、小さい町なので人と人との温かいつながりを感じることができる。

＜自然を残した里山風景のある場として利用＞

- ▶ 子育ての若い人への定住促進となる。
- ▶ 自転車で行ける平らな所なので、一部でも良いから自然を残した子どもの遊び場にしたい。
- ▶ 建物の耐震には経費が掛かるが、子ども、高齢者、障がいを持つ人などの交流の場としたい。
- ▶ 定住促進には情報発信が効果的であり、SNS 等で自然のある安心な子育て環境をアピールする。

＜その他＞

- ▶ とまるところが無いので宿泊施設になると良い。
- ▶ 総合病院を誘致する。
- ▶ 民間を活用する。

【地域包括ケアシステムについて】

要約：

地域包括ケアシステムは理想的だが担い手不足。サポーター養成だけでなく、活躍出来るよう支援が必要であり、個人情報保護という障壁も解消しなければならない。地域コミュニティーも顔を合わせる人は決まっており、出せる人もまだ良い。医者も少なく交通網も弱い山西地区では、小児病院跡地にでも医療モールが出来ると嬉しい。

各意見：

- ▶ 理想論にすぎない。他人事のようなことを言うてはいけない。すでに老々介護である。
- ▶ 二宮ではミニデイサービス、サロンなど既に行っている。

- 福祉ネットワークとして買い物などの手伝いは既に行っている。それを少し膨らませて支えていくと考えれば良いのではないか。
- 百合が丘ゆめクラブは日を決めて訪問するなど活動をしている。地区社協もサポートして下さる方が率先して活躍している。
- ふれあいサロン、ミニデイサービスなど利用される方も、手伝いされる方も固定化されてしまっており義務化されている。形骸化させずいかに活性化させるかが課題、責任、賠償などにより気持ちはあるがブレーキがかかるのも事実である。
- 個人主義の弊害がここに出ている。昔は周りとの助け合いがあったが、今は子どもも大人も一緒にプライバシーを重んじ。命さえ守れなくなっているのが現状。
- 自分がボケないようにしなければならない。健康でコロッと行けば迷惑かけないし、ボケて長生きするのが問題。認知症の予防について研究をすることの大事。
- 医療に関しては非常に不便で厳しい。小児病院跡地が医療モールになればよいと期待している。
- 高齢社会は車がないと大変で、タクシーなど補助も重要だ。
- ミニデイや会合に出てくる人は決まっていて、来れる人はまだ健康。外出させることでボケや各種症状が防止できると考える。
- 様々な方が認知症サポーターの講習を受講して欲しい。
- 各種システムに乗っている人は良いが、そうでない方のケアが重要。
- 隣人がどうにかなったときは助けてあげたいが、何かあったら思うと手が出せない。隣人を愛する付き合いができれば素晴らしい町になるだろう。
- 現在は病院から家庭へとなっている。家庭でみるのは大変であり、特に認知症は、問題を解決してあげる、絶対に怒らない、など介護する人の学習が必要。
- 包括ケアのサポーターとして、認知症になりそうな人を民生児童委員の方など地域の方が積極的に巡回してつなげていく。情報も伝わるだろうし外出するきっかけになると思う。日頃から積極的にそういう関係性を作っておくことが必要。
- 認知症サポーター講座を受けても実践しなければ意味がない。
- 普段歩かず外出も避けていた人も、引っ張り出し出かけたら歩けるようになった。
- お年よりはアクアのような施設で機能回復に取り組むのが良い。
- 体育館には色々な設備があるが、指導者がいないため利用できない。
- 民間活用として総合病院を誘致出来ないものかと思う。

【平成 28 年度予算等について】

要約：

予算をもっと縮小して選択と集中を行うべき。そのためにも広域での事業展開が更に必要となってくる。未利用地である小児病院跡地については当時の契約内容を確認し、何なら可能なのかまずは示すべき。

各意見：

- 水中ウォーキングは大変良い、特にジャグジーは人気。
- 今後 10 年の財政見通し、人口減少しながら減らない予算を検証するべき。
- 交付金たよりの予算編成では良くない。
- 費用対効果として、山西プールが温水であったら年間通し利用できるという考えもある。
- 高齢化率が更に高くなり、人件費も含みその部分の予算が増えるのが心配。

- 今後地域は地域で見て行くとのウエイトが重くなるが、核家族化でどう進められるか心配。
- 老人会も一生懸命活動しているが予算少ないのは仕方ない考える。
- 利用価値のない財産は売っちゃったほうが良い。
- 小児病院跡地は子ども利用を前提に購入したと聞いているが、明らかに示すべき。
- 二宮小学校、駅前町民会館を売って、東大跡地に小学校をつくってはどうか。
- 二宮町は待機児童0だ！ともっと情報配信できると、もっと良いアピールになる。
- 防災対策費については常に意識していることが重要。